



ふれあい 放水路

1999
(平成11年)
第62号
5月



工事が進む古志橋

古志橋の橋桁大移動

現在、改築工事が進められている古志橋で、中央アーチ部分の橋桁を仮栈橋上から所定の位置に移動する作業を行いました。

古志橋では、工事に使用する仮栈橋を撤去しやすくするために、将来の計画に合わせて四車線用につくった橋脚のうち、今回橋を架ける二車線の反対側（下流側）に仮栈橋をつくり、橋桁を組み立て、移動させる工法を採用しました。

長さ約一二五メートル、総重量一二〇〇トンもある橋桁を、ジャッキで二メートル上流側へ移動します。橋桁は一回の作業で八〇センチを十五分かけてゆつくりと移動するため、何となく見ているとわかりませんが、時間が経つてみると、元の場所から姿がなくなり、移動しているのがわかります。

全国でも最大規模のこの工事を見学に訪れた県内の工事関係者や地元の方約二〇〇名が見守る中、無事橋桁の移動が完了しました。

平成11年度の放水路事業計画

大社町中荒木地区では
樋門工事に着手します。

崎屋地区では
引き続き崎屋橋の上部工事を施工します。
また、堤防工事や新内藤川排水機場の樋門工事、及び崎屋橋の左岸側の取付工事に着手します。

境島～下横地区では
引き続き堤防工事と軟弱地盤対策工事を行います。
また、境橋の下部工事に着手します。

塩冶～半分地区では
半分大橋の取付道路や高欄設置などの工事を行います。

開削部では
引き続き菅沢、半分地区の掘削・盛土工事、A谷・C谷の防災調整池工事、C谷の市道付替工事を行います。
また、C谷の工事用道路に着手します。

古志地区では
引き続き古志橋の中央部（アーチ部分）と右岸側（塩冶側）の上部工事、左岸側（古志側）の下部工事を行います。
また、新たに古志橋左岸側の上部工事と右岸側の取付工事に着手します。

向原～大島～神門～芦渡地区では
引き続き、大島～神門地区では堤防工事、軟弱地盤対策工事、妙見橋の下部工事を、向原～大島地区では樋門工事を行います。
また、向原地区、芦渡地区では堤防工事に着手します。

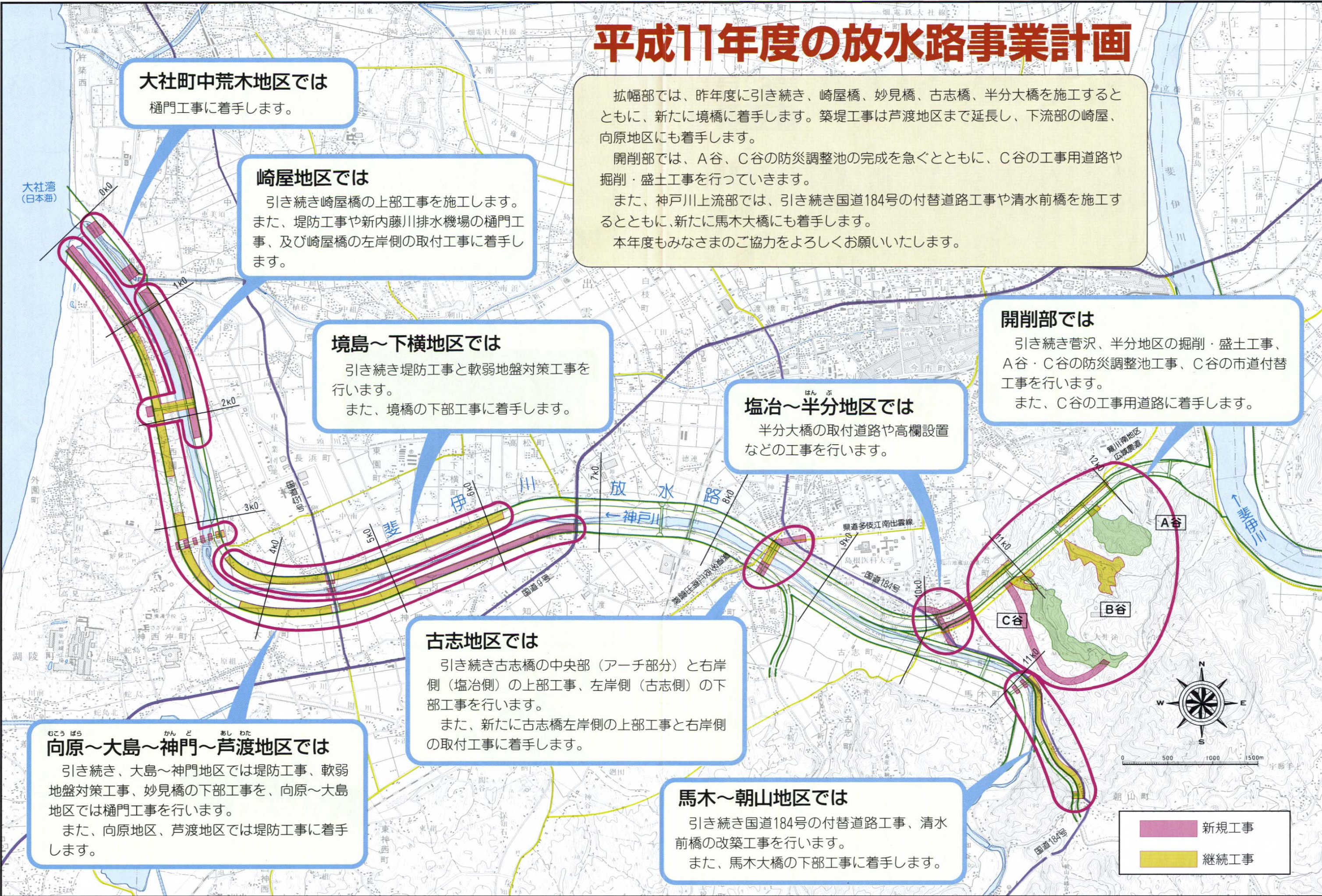
馬木～朝山地区では
引き続き国道184号の付替道路工事、清水前橋の改築工事を行います。
また、馬木大橋の下部工事に着手します。

拡幅部では、昨年度に引き続き、崎屋橋、妙見橋、古志橋、半分大橋を施工するとともに、新たに境橋に着手します。築堤工事は芦渡地区まで延長し、下流部の崎屋、向原地区にも着手します。

開削部では、A谷、C谷の防災調整池の完成を急ぐとともに、C谷の工事用道路や掘削・盛土工事を行っていきます。

また、神戸川上流部では、引き続き国道184号の付替道路工事や清水前橋を施工するとともに、新たに馬木大橋にも着手します。

本年度もみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



この地図は、建設省国土地理院の提供を受けた、同院発行の「国土の地形図」を基に作成したものである。（縮尺番号：1:100,000 第164号）

ふれあい 放水路

通信

公民館からこんにちは

古志公民館

『新古志橋』に期する

出雲市古志公民館館長 小野 裕章

神戸川。これを私たちは「古志川」と呼ぶ。子どもの頃、夏休みになると古志川で泳ぐのが日課であった。ボートを漕いだり、釣りをしたり古志川で明け暮れた思い出は今も尽きない。

このたび「斐伊川放水路事業」に伴い、古志川にアーチ橋がかけられる。二十世紀の幕開けを祝福するかのよう、二年後の平成十三年三月には「新古志橋」が完成する。

現在の「古志橋」は昭和七年に完成したもので爾来七十年の長きにわたり交通の要衝として地域振興に大きく貢献した。この橋はお役目を十二分に果たし、やがて姿を消して行く。惜しみても余りある。多年、幾多の苦節に耐えぬいた老橋に惜別と感謝の念を禁じ得ない。

新たに登場する「新古志橋」は、いずれ山陰自動車道に直結する全長三百メートル、東西を貫く歩道つき二車線のアーチ橋である。

眺めのよさから人の出会い・触れ合いが生まれ、便利のよさから車の往来が多くなり、交流人口の増えることを期待する。そして更なる生活基盤の整備により、定住人口の増加は望めないだろうか。広い河川敷で若い男女がスポーツを楽しむ、夏祭りに老いも若きも幾重に輪になって古志大梶踊りを踊っている、川で子どもが歓声をあげ水しぶきをあげて遊泳している姿などを橋から目の当たりにできることをまた夢見ている。

「あす開く 夢のかけ橋 アーチ橋」



▲古志公民館スタッフのみなさん

神戸川周辺の写真募集

神戸川あるいはその周辺の写真を募集します。あなたの好きな風景、変わりゆく姿など何でも結構です。お寄せ下さい。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事室 事業対策官

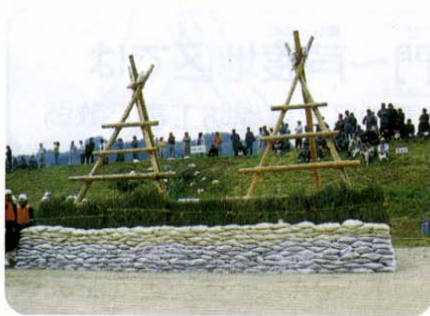
みずから守ろうみんなの地域

5月は水防月間です

水害からわたしたちの生命や財産を守る大切な水防活動。ひとりの力ではできないことも、水防団や地域住民が力を合わせることで、地域を守る大きな力となります。

「いざ」という時、すばやくスムーズに水防活動を行うため、毎年出水期の前に、建設省、島根県、地元水防団体をはじめとする水防団員が参加し、水防工法の認識と水防への意識向上を目的とした「斐伊川水防演習」を行っています。

今年も六月二日、斐川町出西の斐伊川右岸高水敷（南神立橋上流側）において水防演習を行いました。



▲水防工法（出雲結）